



2025年8月8日

各位

会社名 株式会社タカギセイコー
代表者名 代表取締役社長 高木章裕
(コード番号 4242 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 沖 孝 則
電 話 0766-24-5522

NEDO「水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業」採択のお知らせ

当社が提案した研究開発テーマが、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の2025年度「水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業/燃料電池・水電解の実用化技術開発」に採択されましたので、お知らせいたします。

記

1. 本研究開発の背景

水素社会の実現に向けて、燃料電池で走るトラックなど、業務用大型車両での水素利用が期待されています。これらの車両に搭載される高圧水素タンクには、1回の充填による航続距離を延ばすための「大型化」と、燃費を向上させるための「軽量化」が求められています。

水素は最も小さい分子であるため、タンクの素材を透過しやすい性質があります。そのため、タンクの製作には、水素を閉じ込めるための樹脂製の内部容器「ライナー」が不可欠です。しかし、従来の製造方法では、タンクの大型化や、性能を保ったままライナーの表皮を薄くすること（薄肉化）に課題がありました。

2. 本研究開発の目的

当社はこれらの課題を解決するため、独自の成形技術で高圧水素タンクライナーの生産技術革新に挑みます。本開発では、水素を極めて通しにくい特殊な樹脂材料（高水素バリア材）を用います。そして、継ぎ目のない一体製品を効率的に製造できる、当社保有の「回転成形法」という技術を応用し、大型で軽質なライナーの生産技術を確立します。

また、この新しい生産方式により、従来の製造方法に比べて生産時間を短縮し、設備投資や材料費も抑えることで、高性能なライナーの低コスト化を図ります。

当社は、本開発を通じて大型商用車（HDV）分野における水素エネルギーの普及拡大を後押しすることで、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

3. 採択テーマの概要

(1) テーマ名

高水素バリア性樹脂材料と回転成形法による／大型・薄肉高圧水素貯蔵タンクライナーの研究開発

(2) 事業内容

大型商用車（HDV）分野における水素エネルギーの普及拡大に向けて、高圧水素タンク用ライナーの大型化・薄肉化及び低コスト化を実現するため、研究開発を行います。

(3)開発期間

2025年6月から2028年3月まで

(4)実施体制

共同研究先：国立大学法人金沢大学

富山県産業技術研究開発センター

※詳細につきましては、下記掲載先をご参照ください。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

- ・2025年度「水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業」に係る実施体制の決定について

https://www.nedo.go.jp/koubo/SE3_100001_00110.html

以 上